

家畜衛生情報

東部地域畜産経営技術推進指導協議会

西部地域畜産経営技術推進指導協議会

667号

2024.12.10

富山県東部家畜保健衛生所

富山県西部家畜保健衛生所

富山県肉用牛協会 50周年記念式典が
開催される..... 1
高病原性鳥インフルエンザが全国で発生
最大限の警戒を！..... 2
豚熱の発生予防の徹底について..... 3
冬期における消毒のポイント 3
地域防疫演習を開催 3
令和6年度富山県畜産共進会（肉牛の部
<枝肉>）が開催されました..... 4

冬期に向けた子牛の呼吸器病対策 4
☆ランピースキン病のワクチン接種牛の
輸出制限..... 4
令和6年度畜産優良施設等視察研修会
の概要について..... 5
家畜衛生研修会(病理部門)を受講して ... 5
防疫情報..... 6
お知らせ 6
年未年始の死亡牛検査受付対応について ... 6

富山県肉用牛協会 50周年記念式典が開催される



富山県肉用牛協会 50周年記念式典の様子

11月8日、富山県肉用牛協会の創立50周年記念式典が富山市のANAクラウンプラザホテルで開催されました。式典には、肉用牛協会会員や関係者など45人が参加し、半世紀の節目を祝いました。

式典では、富山県肉用牛協会山本会長より「和牛の枝肉価格低迷や飼料価格の高騰で生産者の経営が厳しい状況にあるが、酒粕で育てた「とやま和牛酒粕育ち」は、脂肪がまろやかでおいしいと好評を得ており、引き続き会員の皆さんとともに飼養管理技術の向上に努めたい」と挨拶がありました。

また、同協会の発展に貢献された功労者の表彰があり、歴代の会長を務めた（写真左から）谷口一男さん（入善町）、村田信雄さん（富山市）、干場仁さん（氷見市）、柏篤さん（立山町）に表彰状と記念品が贈られました。

（西部家保環境課 粕谷課長）

高病原性鳥インフルエンザが全国で発生 最大限の警戒を！

今シーズンの高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）は、これまでで最も早く10月17日に北海道（肉用鶏農場）で確認されて以降、短期間のうちに計12例が確認されています。これは、過去最多の発生となった令和4年度シーズンに匹敵するペースであり、さらには周辺において死亡野鳥等からHPAIウイルスが検出されていない地域でも発生が確認されている（関連6ページ）など、全国どこで発生してもおかしくない状況となっており、最大限の警戒が必要となっています。

全国的にHPAIウイルスが存在していると考えられる中、今後さらに環境中のウイルス濃度が高まり発生リスクがさらに増大すると考えられることから、家きん農場における発生防止を図るため、下記に留意して効果的に飼養衛生管理を行うよう、再点検を含めて改めてお願いします。

- 1 飼養衛生管理区域に出入りする人、車両等の防疫対策の徹底
 - (1) 専用衣服及び長靴の設置、着用を徹底するとともに、交差汚染が生じない動線を確保すること。
 - (2) 家きん舎ごとの専用長靴の設置及び使用、手指消毒等について適切に実施すること。
 - (3) ウイルス侵入防止対策については、全ての従業員だけでなく、飼料等の生産資材の運搬事業者、家きんの導入・出荷作業、工事関係者等農場に出入りする事業者にも徹底させること。
- 2 野鳥、野生動物等の侵入防止対策
 - (1) 家きん舎の点検により破損、隙間等を見つけた場合は速やかに修繕するとともに、除糞ベルトや集卵ベルト等の開口部にカバーやシャッターを設置すること。
 - (2) 堆肥舎への防鳥ネットの設置、餌こぼれの片付け、家きん死体や廃棄卵の適切な処理をすること。
 - (3) 家きん舎周辺の整理整頓、草刈り等により、野生動物等の隠れやすい場所をつくらないこと。
- 3 農場の周辺環境におけるウイルスリスクの低減
 - (1) 防鳥ネットや忌避テープの設置により農場内へ野鳥を近づけない対策を講じること。
 - (2) 農場周辺にカラス等の野鳥を誘引する施設やねぐら等の生息に適した環境がある場合は、枝払い等により解消を図ること及び野鳥等への安易な餌やりやそれに類する行為は中止すること。
- 4 農場外の関係者を含めた飼養衛生管理徹底（不要不急の工事の延期等）、鶏舎への塵埃進入防止（フィルターや噴霧器の設置等）



集卵ベルトへの防鳥ネット設置例

また、地域におけるまん延を防ぐためにも、HPAIが疑われる事例については、早期に家畜保健衛生所まで通報をお願いいたします。特に今シーズンの発生農場での疫学調査では死亡羽数の増加がみられなかった例（4、10例目）も確認されています（いずれもまとまって死亡が確認）。改めて家きん飼養者の皆様方には以下の異状が確認された場合には早期に通報をお願いします。

同一の家きん舎内において、1日の家きんの死亡率が過去3週間における平均の家きんの死亡率の2倍以上となっている。5羽以上の家きんが、まとまって死亡している又はまとまってうずくまっている。

上記以外であっても、通常時と異なる状態であると感じた場合は、他の疾病を疑う場合であっても連絡をお願いします。（西部家保防疫課 小林主任）

令和6年11月21日に開催された令和6年度鳥インフルエンザ防疫対策緊急全国会議の資料（農林水産大臣メッセージ等）が農林水産省HPに掲載されています（右図QRコード）。対策のポイント等を確認し、改めて飼養衛生管理の点検を行い不備がある場合は改善をお願いします。



高病原性鳥インフルエンザ（法定伝染病）

（12月4日現在）

事例	発生月日	発生場所	経営形態	飼養羽数	血清型
6	11月7日	香川県三豊市	採卵鶏	約4.3万羽	H5N1
	関連農場	香川県観音寺市	採卵鶏	約2.8万羽	—
7	11月10日	宮城県石巻市	肉用鶏	約12.3万羽	H5N1
	関連農場	同上	肉用鶏	約4.8万羽	—
8	11月12日	北海道旭川市	採卵鶏	約4.4万羽	H5N1
9	11月19日	岐阜県本巣市	採卵鶏	約1.5万羽	H5N1
10	11月20日	鹿児島県出水市	採卵鶏	約11.3万羽	H5N1
11	11月25日	埼玉県行田市	あひる（肉用）	2,528羽	H5N1
12	12月3日	宮城県川南町	肉用鶏	約3.0万羽	

豚熱の発生予防の徹底について

令和6年11月1日、愛媛県四国中央市の農場で、国内94例目となる豚熱の発生が確認されました。また、令和6年8月14日に新潟県新発田市で発生した国内93例目の豚熱について、現地調査結果の概要が公表され、衛生管理区域に進入する車両の消毒が不十分だったこと、衛生管理区域および豚舎に立ち入る人員の作業着、長靴の交換の実施に不備がみられたこと、衛生管理区域周囲に設置された柵に5～30cm程度の間隙が確認されたこと等、飼養衛生管理上の問題点が報告されています。

今年度富山県では、野生いのしし豚熱検査の陽性率が、過去3年間に比べ高く推移しています(右表)。豚熱ウイルスの侵入を防ぐためには、飼養衛生管理基準の遵守徹底が極めて重要となります。養豚農家の皆様方には、あらためて以下の点について留意くださるようお願いいたします。

表 富山県における野生いのしし豚熱検査結果

年度	R3	R4	R5	R6※
検査頭数	327	609	1,176	1,225
陽性頭数	0	7	20	50
陽性率	0.0%	1.1%	1.7%	4.1%

※R6.12.4現在

- 1 人、車両、物等の農場への出入り時の消毒や、野生動物の侵入防止対策など、養豚農場におけるウイルス侵入防止対策について再点検してください。
- 2 豚熱ワクチンのみでは豚熱ウイルスの感染を完全には防げません。適切な飼養衛生管理を徹底した上で、適時・適切なワクチン接種を実施してください。
- 3 家畜保健衛生所への通報が遅れますと、他の農場への豚熱まん延リスクを高めてしまいます。通常と異なる死亡の増加や継続などを認めた場合には、直ちに家畜保健衛生所に相談してください。

(西部家保防疫課 竹元係長)

冬期における消毒のポイント

寒さが一段と厳しくなってきました。農家の皆さんが日頃実施されている消毒は、疾病の発生予防のために重要ですが、通常、冬期の低温下では消毒薬の効果は低下します。冬期は以下のポイントに注意して消毒方法を工夫し、消毒薬を有効に使用しましょう。

- ・消毒薬の濃度を濃くし(通常2倍以内)、凍結の可能性がある場合は、不凍液等を添加してください。
- ・消毒薬の変質を生じない程度の加温または温水を利用して、消毒薬の温度を上げてください。ただし、ハロゲン系消毒薬(塩素系消毒薬、ヨウ素系消毒薬)は加温により殺菌効果が低下しますので、20位の常温で使用してください。
- ・逆性石けん液(アストップ、パコマ等)にアルカリ成分(消石灰等)を0.2%になるように混合してアルカリ化すると、低温でも消毒効果を高めることができます。
- ・冬期でも消石灰の屋外散布は有効ですが、積雪や降雨時は2週間～1か月程度で消毒効果が失われますので、適宜散布を行ってください。

(西部家保防疫課 飯田課長)

地域防疫演習を開催

11月6日に砺波市B&G海洋センターにて砺波市と県関係機関の約50名に参加していただき、地域防疫演習を開催しました。地域防疫演習は、家畜伝染病が畜産農場で発生した際の防疫体制と市町村や関係機関との連携・協力体制の確認を目的として開催しています。

今年度は豚熱を想定し、実際に集合施設で従事する砺波市職員と県広域普及指導センター職員で設営から行い、防疫作業に従事する予定の県農林振興センター(高岡、砺波)職員に会場まで来ていただき運営を実施しました。各農林振興センター職員には事前に集合施設の流れや防疫作業、防護具の着脱等について、座学研修を行い、当日バスで集合施設に到着するところから解散するまでの一連の集合施設の工程を体験してもらいました。今回の演習では参加していただいた皆様のご協力により実際に則した形で防疫演習を行うことができ、より実効性の高いものとなり理解を深めることができました。万が一の家畜伝染病発生時には被害を最小限とするため、迅速かつ的確な防疫対応が重要となります。今後とも発生予防対策の強化と強固な防疫体制構築に努めたいと思います。

(西部家保防疫課 増永係長)



集合施設の設営の様子



バスによる作業従事者到着の様子

令和6年度富山県畜産共進会(肉牛の部<枝肉>)が開催されました

11月29日、射水市の富山食肉総合センターにおいて、令和6年度富山県畜産共進会(肉牛の部<枝肉>)が開催され、和牛28頭、交雑種18頭の計46頭が出品されました。なお、和牛のうち、26頭(93%)が「とやま和牛酒粕育ち」と認定されました。

厳正な審査の結果、和牛の優等賞1席は有限会社池多ファームが受賞されました。受賞した枝肉は「とやま和牛酒粕育ち」で、格付けがA-5-12、枝肉重量535.0kg、ロース芯面積68cm²、バラの厚さ9.3cmの成績でした。審査講評では、「サシやバラの状態が良く、枝肉全体に厚みがあり、非常に見栄えが良い枝肉」と高く評価されました。

交雑種の優等賞1席は、山本信雄さんが受賞されました。受賞した枝肉の格付けはB-5-8、枝肉重量577.5kg、ロース芯面積64cm²、バラの厚さ6.8cmの成績でした。また、全体として、和牛の肉質等級は4等級以上が96%と高く、交雑種では3等級以上が83%と全国平均より高水準であるなど、生産者の皆様の高い技術が発揮されたものと感じました。受賞された皆様、おめでとうございます。

(西部家保環境課 粕谷課長)

令和6年度富山県畜産共進会審査結果(肉牛の部<枝肉>)

出品分類		区分	農協名	受賞者
類別	性別			
和牛	去勢	優等賞1席	なのはな	(有)池多ファーム
	去勢	優等賞2席	みな穂	柏 慶太
	去勢	1等賞1席	なんと	細川 敏
	雌	1等賞2席	いなば	稲葉山牧場
交雑種	去勢	優等賞1席	いなば	山本 信雄
	去勢	優等賞2席	いなば	山本 信雄
	雌	1等賞1席	なのはな	(有)池多ファーム
	雌	1等賞2席	なのはな	(有)池多ファーム

冬期に向けた子牛の呼吸器病対策

12月に入り、朝晩の冷え込みが一層厳しくなってきました。今年の冬は昨年よりも寒くなるとの予報が出ており、これからの季節は、呼吸器病の感染がおこりやすく、子牛を管理する上で特に注意が必要です。大切な子牛を呼吸器病から守るため、日頃の対策について今一度確認してみましょう。

①ストレスの軽減と環境整備

冷たい外気が体にあたらない場所で飼養し、寒い日は、カーフジャケットやヒーター等を利用して保温しましょう。また牛舎の定期的な換気とこまめな敷料交換を実施しアンモニアの発生を抑えましょう。ふん尿から発生するアンモニアは子牛の喉を傷め、病原体に感染しやすくなります。

②丈夫な子牛を作る

出生時に良質な初乳の給与を行い、また妊娠後期の母牛の栄養状態を整えましょう。妊娠末期の母牛の配合飼料の増給は、子牛の自己免疫に関わる胸腺の発達を促します。

③ワクチンの有効利用

子牛にワクチンを接種しておくことで、感染症発生やまん延を抑えて感染した際の症状の軽減に有効です。また、母牛にワクチンを接種することで子牛への移行抗体の付与が期待できます。

万一感染した場合は、早期の治療が重要です。呼吸器病は、細菌、ウイルス、マイコプラズマ等様々な病原体が複合感染して起こりますが、当所での病性鑑定では原因菌としてパスツレラやマンヘミア等の細菌が多く分離されています。近年は、多剤耐性菌が分離される場合もあり、薬剤での治療が難しい慢性の重篤な肺炎も見受けられます。耐性菌を発生させないためにも、治療にあたっては原因菌に有効な抗菌剤を早期に選択・投与することが重要です。当所では、鼻水等を用いて原因菌の分離・同定や薬剤感受性試験を実施しています。農場内に呼吸器症状を呈する子牛がいる際は、検査のご相談をいただければと思います。

(西部家保検査課 西村係長)

ランピースキン病のワクチン接種牛の輸出制限

11月6日に国内初のランピースキン病が確認されて以降、福岡県で15農場、熊本県で1農場の発生が確認されています(12月4日時点)。現在、発生農場においては生乳の出荷や家畜市場への移動等は自粛することになっていますが、福岡県では本病の発生を踏まえ、まん延防止のためにワクチン接種を開始することとなりました。これに伴い、当該ワクチンを接種した牛に由来する牛肉は、アメリカ合衆国(米国)への輸出が認められないこととなります。そのため当該ワクチンを接種した牛の取引においては、福岡県からワクチン接種証明書が発行されます。本県には米国向けの輸出食肉を取り扱う施設はありませんが、十分ご注意ください。

(西部家保防疫課 増永係長)

令和6年度畜産優良施設等視察研修会の概要について

東部地域及び西部地域畜産経営技術推進指導協議会では、11月11日に令和6年度の畜産優良施設等視察研修会を開催しました。今年度は県内の2施設での視察を行い、市町職員やJA職員並びに獣医師会から13名の参加がありましたので、その概要についてご紹介します。

1 富山県農林水産総合技術センター畜産研究所

本研究所は、平成9年、大沢野町から婦中町千里に新築移転され、酪農肉牛課、養豚課、飼料環境課の三課体制をとっています。

ここでは現在、高泌乳牛の管理技術、「とやま和牛酒粕育ち」等の高品質牛肉の生産技術、豚の飼育管理技術、自給飼料や家畜ふん尿の処理・利用に関する研究等により、生産現場で活用できる技術開発に取り組んでいます。

今回は、場内視察を行った後に、「『とやま牛』の美味しさを評価するための食味指標の開発」、「産子数の違いによる娩出子豚の経時的行動の推移」、「子実とうもろこしの単収を増やす栽培方法」についての研究成果（写真1）を聴講しました。

2 有限会社たなか牧場

本農場は、氷見市小滝にある黒毛和牛約130頭を飼養する肥育農場であり、生産した牛肉を自ら経営する精肉店及び焼肉店で販売しており、安全・安心で味の良い牛肉を提供したいとの思いから、農場HACCPに取り組み、本年3月25日に「農場HACCP認証」を取得されました。当日は、HACCPチーム責任者でもある農場管理者から、農場における衛生管理や生産性の向上、食の安全性の取り組みについて農場視察（写真2）と合わせて貴重なお話を聞かせて頂きました。



写真1 研究成果について講義



写真2 農場の衛生管理等視察

(西部家保環境課 台蔵上席専門員)

家畜衛生研修会（病理部門）を受講して

農研機構動物衛生研究部門において、10月8日から11日にかけて家畜衛生研修会（病理部門）が開催されました。本研修会では全国の家畜保健衛生所、動物検疫所などの病理検査担当者が集まり、各所の事例報告が行われましたので報告された疾病についていくつかご紹介いたします。

○牛の真菌性流産

アスペルギルス類や接合菌類が牛に感染することで流産を引き起こすことが知られています。本病を発症した場合、流産胎子には主に皮膚炎が認められ、胎盤では壊死性胎盤炎を呈することが知られています。今回報告された症例では流産胎子に病変が認められず、胎盤に限局して壊死病変が認められ、病変部に真菌の菌糸が観察されました。このように流産が発生した場合に胎盤の検査を実施することで原因が判明することがあります。牛飼養者の皆様におかれましても、流産が発生した場合に胎盤も娩出されている場合には、子牛と併せて胎盤も提供いただくことで原因を特定することがあります。

○豚流行性下痢

本病は豚流行性下痢ウイルスを原因とする疾病で国内では平成25年に全国的に流行がみられました。富山県では平成26年以降発生はありませんが、全国的には現在でも関東を中心に散発的に発生しています。本病のように県内では長期にわたり発生していない疾病であっても県外から病原体が持ち込まれるリスクがあります。豚に限らず県外から家畜を導入する際には導入時検査を実施するとともに導入家畜の隔離、健康状態の観察を行ってください。

○鶏コクシジウム病と鶏クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症

鶏コクシジウム病は原虫の一種であるコクシジウムが感染することで下痢、血便を呈する疾患です。本病は細菌の一種であるクロストリジウム・パーフリンゲンスの増殖を増長し、重篤な壊死性腸炎を発症することが知られています。この混合感染による死亡例は本県でも発生しており注意が必要です。対策として空舎期間におけるオルソ剤等を使用した消毒の徹底、コクシジウムに対するワクチンの使用、生菌剤の投与などが有効となります。

(西部家保検査課 長澤獣医師)

防 疫 情 報

全国の主な家畜伝染病の発生

令和6年(2024)シーズンの野鳥の高病原性鳥インフルエンザウイルス発生状況 (12月4日現在)

事例	回収日 採取日	場 所	種 名	最終判定
11~57 47 事例	10/29~ 11/29	北海道：斜里町、釧路市、北見市、大空町、池田町、本別町、標茶町、清里町、札幌市、鶴居村、根室市、厚岸町、別海町／岩手県：盛岡市／秋田県：横手市／福島県：福島市／埼玉県：熊谷市／新潟県：十日町市、新潟市／福井県：福井市／愛知県：大府市／滋賀県：草津市／徳島県：阿南市／鳥取県：鳥取市／福岡県：福岡市／熊本県：天草市／鹿児島県：出水市	オオタカ、オオハクチョウ、オジロワシ、カモ・ハクチョウ類、キンクロハジロ、タンチョウ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハヤブサ、ヒドリガモ、ナベツル、マガモ・カモ類、マナヅル	45 検体 :H5N1 2検体 :検査中

県内の主な家畜伝染性疾病の発生

病 名	畜種	発生月日	戸数	頭羽数	備考
牛パストツレラ症とヒストフィルス・ソムニ感染症	牛	10月3日	1	1	
牛大腸菌症	牛	11月6日	1	1	
牛コクシジウム病	牛	11月21日	1	1	
豚増殖性腸炎と豚パストツレラ症と豚コクシジウム病と豚鞭虫症と豚肺虫症	豚	10月21日	1	1	
豚丹毒(届出伝染病)	豚	11月1日	1	1	と畜場発見
めん羊の消化管内線虫症	めん羊	11月11日	1	1	

県内における野生いのししの豚熱PCR陽性事例(令和6年10月5日以降) (12月4日現在)

	発見又は捕獲日	発見又は捕獲場所	成長区分	性別		発見又は捕獲日	発見又は捕獲場所	成長区分	性別
1	10/12	氷見市平沢地内	成獣	雌	15	11/12	黒部市釈迦堂地内	成獣	雄
2	10/16	氷見市中波地内	成獣	雄	16	11/13	立山町横江地内	成獣	雄
3	10/17	氷見市熊無地内	成獣	雄	17	11/11	氷見市胡桃地内	成獣	雄
4	10/18	氷見市日名田地内	成獣	雄	18	11/11	氷見市胡桃地内	成獣	雌
5	10/23	氷見市中波地内	成獣	雄	19	11/12	氷見市論田地内	成獣	雄
6	10/25	氷見市中村地内	成獣	雌	20	11/13	氷見市中田地内	成獣	雌
7	10/25	氷見市中村地内	成獣	雌	21	11/13	氷見市中田地内	成獣	雄
8	10/25	氷見市中村地内	成獣	雄	22	11/14	氷見市日名田地内	成獣	雄
9	10/27	氷見市田江地内	成獣	雄	23	11/17	富山市八尾町平林地内	成獣	雌
10	10/28	氷見市坪池地内	成獣	雄	24	11/25	富山市八尾町清水地内	成獣	雌
11	10/28	氷見市坪池地内	成獣	雌	25	11/25	富山市八尾町清水地内	成獣	雄
12	11/4	氷見市国見地内	成獣	雄	26	11/19	黒部市釈迦堂地内	成獣	雄
13	11/4	氷見市堀田地内	成獣	雄	27	11/21	氷見市小滝地内	成獣	雌
14	11/6	立山町白岩地内	成獣	雌					

☆ お 知 ら せ ☆

催 事 等	期 日	場 所
北陸三県和牛子牛市場	12月19日	北陸三県家畜市場(金沢市)

* 年 末 年 始 の 死 亡 牛 検 査 受 付 対 応 に つ い て

家畜保健衛生所は、12月28日(土)~1月5日(日)の期間は閉庁となりますが、死亡牛検査は12月28日(土)、29日(日)、30日(月)および1月3日(金)、4日(土)、5日(日)の午後は受付いたします。なお、搬入は午後1時~4時をお願いします。

発行所 富山県東部家畜保健衛生所 https://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1687/
〒939-3536 富山市水橋金尾新4-6 電話(076)479-1106 F A X (076)479-1140
編集者 粕谷 健一郎(富山県西部家畜保健衛生所)
○最新号は右のQRコードからいつでもご覧いただけます。

